

令和4年度事業報告

近年の頻発する自然災害から地域の安全・安心を守り、社会資本の着実な整備を担う地域建設業の役割は益々大きなものとなっており、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策による事前防災の重要性が高まっている。

また、コロナ禍、ウクライナ危機や円安により内外経済の先行きが不透明になっている状況において、民間建設投資の冷え込み、資機材価格の高騰・品薄の影響等により地域建設業にも深刻な影響が広がってきている。

このような状況の中、地域建設業は地域の社会資本の整備や維持管理はもちろん、災害発生時には最前線で災害対応を担う「地域の守り手」であり、また地域経済と雇用の下支えをする地域の基幹産業でもあることから、公共事業予算の安定的・持続的な確保及び発注等要望活動を行った。

また、将来に亘って建設業が地域の安全・安心を守る社会的使命を果たしていくためには次世代の担い手を確保していくことが不可欠である。若者が夢と誇りを持って活躍できる希望に満ちた産業となるよう「給料が良く」「休日が取れる」「希望が持てる」新3Kを推進するため「休日月1プラス運動」の普及を昨年度も継続して推し進めた。

建設業は社会に大きく関わる「もの造り」という大変意義のある職種であり、自らの仕事を誇りに思える業界であるという魅力発信事業に昨年度も力を入れた。当協会青年部と高校生・人材育成センターとの舗装体験実習、測量技術研修会、また子供から大人まで楽しめる幼稚園児への砂場製作及び建設機械乗車体験、女性部による子供たちへのけんせつ絵本の読み聞かせ等をとっとり建設女星ネットワークとも連携を図り開催した。

また、建設業が地域の安全・安心の重要な役割を果たす上で、「災害時の応援体制等」の協定を関係機関と締結し、加えて環境保全活動、美化運動等、様々な社会活動を行った。

研修関係は、入札参加資格者格付要綱の指定研修である「人権問題研修会」「安全管理研修会」「暴力追放研修会」を開催し、受講者の加点申請を行う等知識と技術の向上に努めた。さらに人材育成センターのオーダーメイド型在職者訓練として「レベルを学ぶ」・「TSを学ぶ」・「GNSS測量講習」を行った。

総務・経営、土木、建築各委員会では、要望事項を取りまとめ、県協会の委員会で積極的な協議を行い、国・県との意見交換に反映させた。

更に、会員の安全対策として関係機関の協力のもと、全会員による安全祈願祭及び災害防止委員会による建設現場安全パトロールなど労働災害防止に努めた。

今後も、一般社団法人鳥取県中部建設業協会は、地域を支える基幹産業として地域から信頼される業界団体を目指して邁進して行きたい。